

社会的養護の社会化フォーラムを通して、松阪地域にも子どもに関わることをしている団体はたくさんあることがわかりました。各団体がつながり合えるように、このコーナーで紹介させていただきます！

Vol.1 特定非営利活動法人 松阪メンフクロウの会



松阪市三雲地域で「ワイワイ子ども食堂」をしている(特)松阪メンフクロウの会理事長の浜中正幸さんにお話を聞きました。「今は、少子化で子どもが少なくなっているが、子どもたちに悲しい思いはさせたくない。支援は継続していかないと意味がない、自分たちにできることをしていきたい。」と話されていたことがとても印象的でした。2年ほど前に知人と、夜間に働く女性のための夜間保育所を作ろうと(特)松阪メンフクロウの会を立ち上げました。保育所に向く物件はなかなか見つからず、今も良い物件を探している最中だそうです。また、子ども食堂が全国各地で広がりを見せている時だったため、多くの人に知ってもらおうと、「ワイワイ子ども食堂」を始められたそうです。現在は、年に4回行って、みんなが楽しめる内容を考えており、毎回100人~150人の参加があるそうです。



浜中さんは、貧困格差が広がってきていること、労働者の待遇が悪くなっていることが懸念されると話します。働く人の非正規雇用、女性の貧困は多くの子どもの貧困、虐待などへとつながる深刻な問題です。今後は、夜間保育の実現、子ども食堂の回数の増加、学習支援など本当に必要としている子どもたちに届くように活動を広げていきたいと話されていました。



お知らせ

11月3日(祝)に開催される氏郷まつりにて、毎年恒例の不用品バザーを行います。10/29~11/1の間、事務所にて、不用品を集めますので、ご自宅に不用品がありましたら、ご持参ください。ご協力お願い致します。★食品類・衣類はご遠慮下さい。

●チャイルドラインMIE

(きいてほしいな...)  
子どもの心を受け止める  
18歳までの子ども専用電話  
0120-99-7777  
毎週 月曜日~土曜日  
午後4:00~午後9:00

●こどもほっとダイヤル

(助けて!も言える)  
子どもだけが相談できる  
18歳未満の子どものための相談電話  
0800-200-2555  
毎日 午後1:00~午後9:00  
(12月29日~1月3日はお休み)



●この会に賛同し、会を支えてくださる個人・団体の方を募集しています●

個人正会員・参加会員：年8,400円 賛助団体会員：年1口10,000円 支援会員：年1口3,000円  
※入会金：300円

会員数 正会員：25名 参加会員：3名 支援会員：83名 賛助団体会員：27団体 (8月10日現在)

特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター

〒515-0084 松阪市日野町788 カリヨンプラザ1F (開所日・時間 月~金10:00~17:00)  
TEL 0598-20-8344 FAX 0598-20-8345 ホームページ <http://www.mknpj.jp/> eメール [info@mknpj.jp](mailto:info@mknpj.jp)

【賛助団体会員】(敬称略)

- |              |                  |              |
|--------------|------------------|--------------|
| 医療法人 河合産婦人科  | 医療法人 地主矯正歯科クリニック | 健康体操 ひまわり会   |
| 医療法人 イワサ小児科  | 鎮守の森を夢見る会・其二     | 株式会社 富士土地    |
| うれしの 太田クリニック | 株式会社 阪本事務機       | 松阪市健康体操連絡協議会 |
| 株式会社 SK スズキ  | ささおこどもクリニック      | まんこの整形外科     |
| 株式会社 SK スズキ  | 株式会社 ジェントリー      | 医療法人 南産婦人科   |
| 大久保クリニック     | 上瀬クリニック          | 医療法人社団 鷺尾小児科 |
| おおたクリニック     | 医療法人 たるみ内科胃腸科    | 他一団体         |
| 岡田パッケージ株式会社  | はせがわこどもクリニック     |              |

K O D O M O 21

Autumn NO.202  
2018年9月1日  
発行元：特定非営利活動法人  
松阪子どもNPOセンター

松阪撫子どんな花?祭り

日時 5月26日(土) 10:00~15:00  
場所 岡寺山継松寺

今年度は当センターの広報とチャイルドラインのファンド活動を行いました。この日は、お天気にも恵まれて岡寺山継松寺の境内には、10店舗ほどのお店が出店していました。地域の方やお店を出している方とも交流が出来、子どものこと、環境のことについて活動をしている人などと話すことで、新たな広がりを感じる機会でした。



受講者の声

チャイルドラインMIEネットワーク  
子ども支援者養成講座

日時 6月23日(土)~7月14日(土)までの6日間  
参加者 松阪地域 35名/249名

この講座を受けたきっかけは、チラシが職場で回覧されており「電話相談なら...。」と気軽に参加をしました。しかし、講座が進むうちに、今の子どもたちの厳しい状況を知り、子どもの権利を守るためにはどうしたらよいかを考えるようになり、チャイルドラインの存在の重さや受け手の大変さを痛感しました。

どの講座もわかりやすく、あっという間に時間が過ぎました。子ども時代に立ち返るワークショップでは、緊張もしましたが、忘れていた子どもの頃の思い出がよみがえり、子どもたちのためにと思い受けた講座でしたが、結局自分のために研修を受けていると気がつきました。同じ思いを持つ方との交流ということで打ち解けて話し込んでしまいました。

おいしいお菓子や飲み物を用意してくださったので、コーヒーの香りで緊張が緩みました。 A.K



受講者の声

まつさかファミリーサポートセンター  
援助会員養成講座

日時 7月18日(水)~7月25日(水)までの5日間  
参加者 新規受講者 19名 再受講者 8名 合計 27名

今回ファミリーサポートの講義を受講し、全ての講義に共通して、子ども達を取り巻く周りの環境、というワードが入っており、そして、その周りの環境というものが子ども達にとっていかに大切な事も学びました。

一見、小児看護や食育など、周りの環境というワードには当てはまらない様な講義でも、先生達の話を聞いていると、定期的な受けなければいけない予防接種が受けられる環境、楽しく食事が出来る環境など、最終的には周りの環境が子ども達を支え、子ども自身の個性を大切に出来るのだと感じました。

子どもがしたい事を見守ってあげる環境、両親以外でも皆で地域の子を育てて行く様な環境、そういった中に、このファミリーサポートという事業も含まれているんだと感じました。また、そういった取り組みが未来ある子ども達やその大切な子ども達を育てている親御さんの手助けになる様な活動なんだとより感じました。 A.O



どの講座も魅力的な内容でした。講師の方のお話に引き込まれながら、いつの間にかこれまでの自分の子ども観を問い直していました。また、地域的な子育て支援へのニーズが日々高くなっていること、現代版「みんなで子育て」の輪を広げていくことが、子育てに優しい街づくり、そしてみんなが「ふつうに」安心して暮らすことができる街づくりにもつながっていくのだという大きな方向性にも気づきました。微力ではあっても、何か自分にできることをしたいという思いを強くしています。 Y.H

北海道の名付け親  
松浦武四郎

# 松浦武四郎生誕 200 年記念事業



## ●武四郎さんを知ろう

旅行家・探検家・作家・出版者・学者

武四郎さんが全国を旅する時に、伊勢国の出身であることが彼の旅を助けたと考えられます。当時はおかげ参りが流行し、一生に一度はお伊勢参りをしたいというのが、多くの人びとの夢でありました。おかげ参りの旅人は、伊勢神宮へと続く街道を旅しながら、道沿いの家々から厚いおもてなしを受けました。そのため、武四郎さんが各地を旅した際に、伊勢国から来たということで逆に親切にもらったこともあったでしょう。武四郎さんはお世話になった人がおかげ参りに出る時は、実家への手紙を託し、お世話になった人なので世話をしたいと頼んでいました。

全国各地を歩き、見知らぬ人々ともコミュニケーションをとり、繊細なメモを取っていたことには、びっくりです。自ら考え行動をする主体性・創造性にあふれていた武四郎さんから「生きる力」の大切さを改めて考えさせられます。

(松浦武四郎会館の資料から抜粋させていただきました)

全国各地をめぐり歩く武四郎さんは、旅の資金を「篆刻」(石に文字を彫ってハンコを作ること)で稼いでいたそうです。16歳で江戸へ出た時に、漢学者の山口遇所のところでしばらく居候をしていた時に、そこで見よう見まねで覚えたそうですが、いろんなものに興味をもつということは素晴らしいですね。



## 神足歩行術 (伊勢 - 江戸間を3日で往復できる歩行術)

竹川竹斎さんが体得して松浦武四郎さんに教えたといわれている。北海道を神足歩行術で歩いたのでは？ 忍者がこの神足歩行術を使っていたそうです。



## ●まちをあそぶ ～武四郎さんをさがせ～

松阪子ども NPO センターが「まちをあそぶ」を開催するのは今回で4回目になります。今の子どもたちは実体験が乏しくなっていて、まわりの人との関わりも少なくなっています。子どもたちは「まちをあそぶ」のなかで、知らない子とグループを組み相話し合い、創造豊かにあそびます。この事業をとおして、人とのコミュニケーション力、創造性が養われ、まちの中での発見、出会いを重ねてたくさんの心が動く、あそぶ体験をします。今年度は、松浦武四郎生誕 200 年記念事業実行委員会より委託を受けて、松阪市内の子どもたちやその周りの大人が、武四郎さんに広く関心を持ち、生まれ育った伊勢街道沿いの街に愛着を覚えるとともに、かけがえのない郷土の偉人武四郎さんを肌で感じて欲しいと思い「武四郎さんをさがせ」を企画しました。武四郎さんが、かつて育ち今子どもたちが育つ「まち」で大人とともに思いきりあそぶ体験をしてほしいと思います。

### 北海道の名づけ親

武四郎さんは、北海道を探索する時に住民であるアイヌの方たちの協力を得てあの厳密な地図を作成することができました。アイヌの方の現状を知り、和人とアイヌの共存を願っていました。権利意識が高かったことが伺えます。



武四郎さんって  
忍者みたい!!



## ●武四郎さんを知ろう

< 記念館に行って、武四郎さんについて学ぼう! >

9月2日(日)

低学年 10:30~11:30

高学年 13:30~14:30

## ●まちをあそぶ

～武四郎さんをさがせ～

< まちには、ひみつがいっぱい!

知恵をしばって武四郎さんを見つけよう! >

低学年 10月27日(土) 14:00~16:30

高学年 10月28日(日) 14:00~16:30

